

開かれた地域貢献事業 「よくかむグミを作ろう！」講座の開催

12月9日（土）に、小学生を対象とした「よくかむグミを作ろう！」講座を大学の実験室で開催しました。健康科学部健康栄養学科の近藤貴子先生、山田久美子先生が講師となり、子ども達によくかむことのできるおやつを作ってもらいました。



グミを冷やし固めている間に、かむことの大切さを学べる簡単な実験を行いました。実験では、よくかんだ（乳鉢でつぶした）ご飯は、糖が溶出することを試薬の色の変化を見ることで理解し、よくかんで食べることの大切さを学んでもらいました。



講座の最後に、あらかじめ用意してあった軟らかめのグミと、自分たちで作った硬めのグミを食べ比べました。グミを飲み込むまでのかむ回数を数えてもらい、硬いグミの方がかむ回数が増えることを体感してもらいました。実験やグミを作ることが楽しかったとの声を聞くことができました。